

学校だより

令和3(2021)年3月号
宝塚市立御殿山中学校

学校 あの不思議な場所 (茨木のり子)

校長 西澤 健司

2月の全校テレビ放送で紹介した茨木のり子さんの詩をもう一度載せてみました。ぜひご家族で読み直してください。

学生時代が戦争と重なった作者の「学校」への思いが、映像的な表現で描かれている美しい詩です。

戦争中は、したい勉強すらできなかつた。学校は厳しい場所で、かよっている時には大嫌いだつたけれども、学校を離れてみると、「森のようになつかしい場所」に思える。

奇しくも、本校生徒会執行部が作ってくれたスローガン「大森林～序章～」と重なるイメージです。

コロナの時代を生きる私たちも、いま不安や不透明さの中にいます。

それでも、戦時とは違い、自分の好きなことを見つけ、知識や教養を身につけるチャンスがあります。

「学校」という場所は、戦争やコロナに関わらず、時には重たくしんどい存在になっているかもしれませんが、御殿山中はそうではない場面をたくさん作るために、今年度、生徒会を中心に生活規定を見直したり、新しい行事を作ったりしてくれました。飛び立った時、森のようになつかしい場所であるために。「大森林」のスローガンのもと、豊かな森をみんなで作ってください。まもなく御殿山中を飛び立つ3年生の皆さん、残り少ない中学校生活を精いっぱい楽しんで、社会に自由に飛び立ってください。

1,2年生の皆さんは、御殿山の森の中で、ごちゃまぜに発酵していく経験をたくさんしてください。

「学校だより」での校長からの巻頭文はこれが今年度最終になるかもしれません。保護者の皆さまにおかれましては、コロナ禍にかかわらず本校教育にご支援ご協力いただきましたことに、少し早いです、御礼申し上げます。今後とも御殿山中学校をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

午後の教室に夕陽さし
ドイツ語の教科書に 夕陽さし
頁がやわらかな薔薇いろに染まった
若い教師は厳しくて
笑顔のひとつもみせなかつた
彼は いつ戦場に向かうかもしれず
私たちに古いドイツ語の民謡を教えていた
時間はゆったり流れていた
時間は緊密にゆったり流れていた

青春というときに
ゆくりなく思い出されるのは午後の教室
やわらかな薔薇いろに染まった教科書の頁
なにが書かれていたのかは
今はすっかり忘れてしまった

ぼくたちよりずっと若いひと達が
なにに妨げられることもなく
すきな勉強をできるのはいいなア
ほんとに いいなア

満天の星を眺めながら
脈絡もなくおないどしの友人がふっと呟く

学校 あの不思議な場所
校門をくぐりながら蛇蝎のごとく嫌ったところ
飛びたつと
森のようになつかしいところ

今日もあまたの小さな森で
水仙のような友情が生まれ匂ったりしているだろう
新しい葡萄酒のように
なにかがごちゃまぜに発酵したりしているだろう

飛びたつ者たち
自由の小鳥になれ
自由の猛禽になれ

令和3(2021)年度の主な行事予定です

※令和3(2021)年1月6日付けで配布しました、「新型コロナウイルス感染症に係る学校行事等について(令和3年(2021年)1月現在)」(宝塚市教育委員会)に基づき、下記のとおり、学校行事を計画しています。なお、今後の感染状況等によっては、変更となる可能性があります。ご了承ください。

- 始業式・着任式 4月7日(水)
- 入学式 4月9日(金) ※保護者の参列は1名
- 3年:全国学力学習状況調査 5月27日(木)
- 体育大会 5月21日(金)(予備日24日(月))
※宿泊行事が秋以降の実施となることや、熱中症対策の観点から春に実施
- 1学期終業式 7月20日(火)
- 2学期始業式 8月30日(月)
- 3年:修学旅行 2学期に実施予定
※9月以降、発熱等の緊急時に「保護者の対応が可能な距離の範囲」での行先とします
- 文化発表会 10月28日(木)～29日(金)
- 2学期終業式 12月24日(金)
- 3学期始業式 1月7日(金)
- 卒業証書授与式 3月10日(木)
- 3学期修業式 3月25日(金)

- ※現時点で未定のもの
- 1年:転地学習(1学期中での実施はありません。日帰り校外学習での変更も検討中)
 - 2年:トライやる・ウィーク(1日実施で検討中)

今年度の学校評価について

12月の学校評価アンケート(生徒・保護者・教職員)の資料をもとに今年度の取り組みをまとめました。また、今年度は学校関係者評価委員会を紙面開催の形式で行い、ご意見等をいただきました。詳細については、裏面に掲載していますので、ご覧ください。貴重なご意見をありがとうございました。今後も教育内容の改善に努めて参ります。

兵庫県公立高校入試 新型コロナウイルス感染症対策について

2月号でもお知らせしましたとおり、3月12日(金)の一般入試で、下記①または②の場合、3月26日(金)に実施する追試験を受検することができます。

- ① 新型コロナウイルス感染症と診断され、治癒していない者。
- ② 保健所等から新型コロナウイルスの濃厚接触者として健康観察や外出自粛を要請されている者。(条件によっては当日、別室受検可)

①や②に該当する場合はもちろん、風邪やインフルエンザなど、体調不良の場合は速やかに中学校までご連絡ください。いつも以上に体調管理が大切です。「健康観察カード」は引き続き、毎日記入し、学校に持参してください。

日	曜	3月学校行事
1	月	完全下校17:30
2	火	生徒会専門委員会
3	水	職員会議
4	木	
5	金	
6	土	新入生物品販売(午前)
7	日	
8	月	
9	火	職員研修
10	水	
11	木	
12	金	公立高校学力検査 1年球技大会
13	土	公立高校総合学科実技検査
14	日	
15	月	
16	火	卒業式予行 3年給食最終日 3年生を送る会
17	水	卒業式準備
18	木	第35回卒業証書授与式
19	金	1,2年期末懇談 2年球技大会
20	土	春分の日
21	日	
22	月	
23	火	1,2年給食最終日
24	水	大掃除
25	木	修業式
26	金	春季休業(~4/6)
27	土	
28	日	
29	金	
30	土	
31	日	

【4月の予定】※情勢により変更する場合があります

- ・新入生登校日(5)
- ・着任式、始業式(7)
- ・入学式準備(8)
- ・第37回入学式(9)
- ・対面式、部活紹介(12) ※弁当日
- ・身体計測、給食開始、顔写真撮影(13)
- ・職員会議、ノ一部活デー(13)
- ・離任式(14) ※弁当日
- ・授業参観、懇談会(20)
- ・心臓検診(21)
- ・1・3年眼科検診(27)
- ・PTA総会(28)
- ・部活結成式(30)

評価の観点	学校の取組状況・改善の方策	評価項目ごとの学校関係者評価
開かれた学校づくり	コロナ禍にあり、授業参観、オープンスクール等を実施できない状況にあり、達成状況は芳しくない。しかし、保護者アンケートでは情報発信について高評価である。ホームページ、学級通信等による成果かと思われる。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため例年通りにできないが、生徒、保護者、これから入学される方も高い関心を持っておられるので情報発信はできるかぎり丁寧をお願いしたい。 ・情報発信がされており適切に対処されている。A評価で良い。 ・オープンスクールでは合唱コンクールのビデオが鑑賞できたり、コロナ禍でできることを工夫されていた。生徒や保護者のほっとした様子が見られた。
生徒指導	生徒の内面に関わる事例や家庭環境に係る事案が多くあり、教員だけでは支援しきれないもどかしさがあるが、スクールカウンセラー、別室指導支援員、外部関係機関との連携に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・難しいところがあると思うが、様々なアプローチを続けてほしい。 ・SNS,LINE等指導が難しくなっていると推察する。地道な指導をしていくしかない。 ・不登校生徒が多い。「不登校」に対して、登校している生徒にも配慮のある指導をしてほしい。 ・生徒が気軽に相談できるように、支援者の充実、専門機関との連携を一層強めてほしい。
進路指導	昨年度は外部講師を招いた講座を多く開いたが、今年度はコロナ禍のため、「トライやる・ウィーク」をはじめ体験学習が低調になった。一方で調べ学習に取り組み、一定の成果がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・例年通りにはできなかったが、様々な工夫をしておられ、成果はあったと思う。 ・体験学習や先輩から学ぶなどの機会をさらに進めてください。 ・「1日トライやる」や調べ学習など心に残る時間が持てた。
自ら学び自ら考える力の育成	生活規定の見直しやコロナ禍での行事運営など、生徒が主体的に活動する場面を意図的に増やせ、成果があがっている。教科授業についてはグループ学習等に制限があったこともあり、再度、指導者としての工夫が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍だからこそできる行事や学習等で生徒が落ち着いて自ら考え工夫する機会が増えたことは良かったと思う。ぜひ続けてほしい。 ・学校だよりなどからも、生徒が自主的に取り組んでいる様子が窺える。
基礎基本の定着と個に応じた学習指導の徹底	生徒アンケートでは2割が「学校の勉強はあまりわからない」と答えており、困り感のある生徒への支援に課題がある。評価については職員研修も実施し適切に行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習定着ができていないが難しい課題だと思う。研修はよくやっておられるが研修を定期的に位置づけ、個に応じた指導を続けてください。 ・成績の良い生徒とそうでない生徒の差が大きいに感じる。 ・支援者を増やすなどの手立てが必要では。先生一人では難しい。 ・中学校に慣れる機会を逸した1年生の中に多くの課題を負担に感じた生徒もあったようだ。
道徳教育	昨年度に教科化実施におけた研修を深めることができ、今年度の実践に結び付いている。さらに教材の扱い方、授業の核となる考え方の研鑽が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科化の課題、効果等を検証してほしい。 ・いじめ、人権、命に関わる問題解決にもつながるので、さらに生徒が自分のこととして学習できる機会を増やしてほしい。大人社会にも差別意識が露呈した。徳を積む、磨くことを大切に組み込んでほしい。
人権・同和教育	性の多様性の研修を経た実践、命の大切さを考える授業など、人権に関わる実践を着実にやっている。いじめアンケートも学期に1回行い、生徒の状況把握につとめた。また、子どもの命・人権を尊重した指導者としての姿勢についても研修を重ねた。	<ul style="list-style-type: none"> ・課題について保護者と子どもが話し合える状況を作ることができれば良いと思う。 ・いじめアンケートが定期的に行われており、生徒への意識付けにも役立っている。 ・生徒の意見で「いじめアンケートの回数を増やしてほしい」とあった。 ・新たな差別への取り組みが必要になってくるだろう。
特別支援教育	特別支援教育コーディネータを中心に個々の生徒について共通理解を図れており、特性のある生徒の対応も適切に行えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校で課題のあった子がとても落ち着いた様子だったので安心した。
保幼小中連携	コロナ禍により、子ども同士、教員間の交流が行えていない。生徒についての情報交換は適宜行えている。	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は仕方ないが、保護者の貴重な情報源なので、交流の場を続けてほしい。 ・連携がよくとれていると、幼稚園、保育園の方の話からも感じている。 ・小学校の教科担任制が広がる。教科交流に重点を置くのが良いのでは。

学校評価の実施方法についての学校関係者評価

・教職員、保護者、生徒へのアンケートにより、適切に評価できていると思う。
 ・保護者にとってなかなか見えにくい所の評価が難しい(No.3, 7, 9など)と思われるので工夫が必要。
 ・今年度は回答欄に「わからない」という項目が追加されて、課題となる部分や戸惑っているところがわかりやすくなっている。
 ・独自項目に「部活動」を入れてはどうか。がんばっている生徒が多いのに、そのことが表れていない気がする。また教師の意識や認識の共有も大切ではないか。

総合的な学校関係者評価

・生徒さんたちがとても落ち着いて見える。課題はいろいろあると思うが、目標に向かって学校全体で着実に取り組まれていると思う。
 ・登下校の様子を見てみると、落ち着いた学校生活が送れている様子が窺える。
 ・市内中学校の事案を悲しく思う。ぜひ、危機管理、職員研修、きめ細かな指導を続けてください。
 ・生徒会活動も活発に行われており、生徒は自立して自分の学校を楽しくよいものにしようという気概が感じられ、良い雰囲気の学校づくりが行われていると感じる。
 ・「学校へ行くのが楽しい」と感じる生徒が多く、大変不安な中、1年生の多くが「楽しい」と答えているところがとても良かった。その陰には、コロナ対応をしながら一人一人に気遣った対応など先生方の多くのご苦勞があった。
 ・先生方の負担軽減を目指しながら、HSC(非常に敏感な子)対応を含めたきめ細やかな対応や学習指導をお願いしたい。
 ・行動が制限される中、生きる力を育成することがより重要。主体性、人権意識、道徳の教育を工夫し、活かしていただければと思う。
 ・2年生の項目の落ち込みが気になる。保護者、子どもとも中だるみになるのだろうか。